

4月号

# ステパノだより

No.220

## 今月の聖句

『わたしを見たから信じたのか。

見ないのに信じる人は、幸いである。』

ヨハネによる福音書 第20章29節

### ◎4月の予定

6日(金) 入学礼拝式・一学期始業礼拝

9日(月) 身体計測 視・聴力検査(中)

給食開始(小2～中3)

10日(火) イースター礼拝

視力検査(小)

11日(水) 聴力検査(小)

13日(金) 午前授業(小)・半日研修会

新入生歓迎会(中)

16日(月) 給食開始(小1)

17日(火) 学力学習状況調査

18日(水) 新入生歓迎会(小)

岩美中学校来校(中)

19日(木) 眼科検診・教務委員会

21日(土) 保護者総会

24日(火) 体力テスト

26日(木) 耳鼻咽喉科検診

教職員協議会

27日(金) 教職員健康診断

29日(日) 私立中学校進学相談会

### ◎5月の予定

6日(日) 神奈川県私立小学校フォーラム

9日(水) 内科検診

10日(木) 心臓病検診(小1・中1)

校内研修会

昨年度もたくさんの募金寄付の申し込みを頂きました。ありがとうございました。



今月号のこのページは、  
今月の聖句と学園行事のお知らせのみの  
掲載とさせていただきます。

## 主体的、対話的、深い学びへ

学園長 小川 正夫

新しく実施される学習指導要領では、学校教育を通じてより良い社会を創るという理念を学校と社会が共有していくために、教師は資質と能力を磨かねばなりません。それゆえ何を教え、子ども達が何を覚え、何を知ったかというよりも、子ども達は何ができるようになるのかに軸足を置きます。子ども達を主体に、具体的な目標を目指すためには、どの様に学習するか、何ができる様になるのかを先定めて、一人ひとりに合った成長発達の具体的な支援、指導をすることです。子ども達に何が身に着いたかは数値の評定をするのみでなく、肯定的で具体的な観点別の評価に心掛けるようにします。

- ・ 主体的な学びとは、子ども達が学ぶことに興味や関心を持ち、自己実現の方向性と関係づけながら見直しをもつて粘り強く取り組み、学習活動を振り返ることができること。
- ・ 対話的な学びとは、子ども同士の協働、教員や地域の人々との対話、先人の考え方を手掛かりに考えることなどを通じて、自分の考えをより深める多岐な学びを実現できること。
- ・ 深い学びとは、習得、活用、探究という学習の中で各教科の特質に応じたものの見方考え方を働かせながら、知識を相互に関連づけ、より深く理解し情報を精査し纏めて問題を解決し想像したりできることです。

## 白を目指して

小学校教務副主任 赤田 祐章

子どもたちは、綺麗な絵の具が大好きです。私も図工の時間に、パレットに思い思いの色を出して、自分の描く世界を表現するための色を創ろうと、絵筆で混ぜたことを思い出します。そんな時、実験心がむくむくと湧き出てきて、たくさんの色を混ぜてしまい、真っ黒になつてしまった経験は誰でもあるのではないのでしょうか。

さて色には、絵の具の他に「光」の色があります。光でも様々な色を混ぜると、やはり黒になつてしまうのでしょうか。いいえ白になります。この違いは何なのでしょうか。

色には自分で光っている物体の色(光)と、光に照らされた物体の色(絵の具など)があります。後者を混ぜると、自分の色だけを反射させようとして、お互いが遮り合つて、黒になります。光は色を重ねても、自らの色が輝いても、他の色を遮ることなく白に近づきません。

聖書に「あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっております。光の子として歩みなさい。」(エフェソの信徒への手紙第五章八節)とあります。子どもたちは七色に輝く光の子です。この光が集まった時、清らかな白になります。無垢な白を一層輝かすことが出来るように、子どもたちと一緒に、お互いの良さを認め合つて過ごしていきたいと考えています。

## 安寧秩序

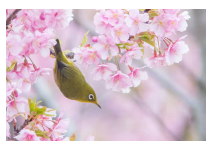
資料編纂 阿部 昭一

ここ数年事務の責任者の交代が続きました。教育研究を支える事務の中核である事務長を中心にして学園の業務を円滑に行う必要があります。

今年は長年の夢であった体育館建設に向けて作業が始まりました。評議員会・理事会でこの計画が承認されました。この体育館には教職員室も入ります。現在の教職員室(一九五六年建築)は教職員の増加により手狭となり、また建物背後の法面は急傾斜地に面しており、危険性が指摘されてきました。

この工事には先生方は勿論、多くの方々のご支援を必要とします。対外的な折衝や事務処理は、事務の重要な責務です。体育館の工事に向けて多くの事務処理を行う必要を、小学校校舎建設の経過の中で痛感しました。特に情報の共有は欠くことのできない事項です。また、体育館建設には多額の費用を必要とします。そのためにも将来に向けて財政基盤の見直しを策定する必要があります。

夢の実現に向けて少しでも力になるよう努力したいと思います。



いつも笑顔で過ごしましょう

教諭 飯田 幸子

2年ぶりに小学校へ戻ってきました。昨年度は小学校で高学年と一緒に過ごした子ども達の高校進学という進路も見届けるという幸せにあずかりました。

今年度は小3副担任ですので、行動範囲が大変広くなり、とても活動的な子ども達についていけるものやらと少々心配ではありますが、今は一緒に活動できることにわくわくしています。

今年度は「いつも笑顔で過ごしましょう」をしっかりと心に据え、1年間を過ごしたいと考えています。笑顔の効用はいくつもあり、科学的にも実証されていますが、昔から「笑う門には福来たる」ということわざもあるように、笑顔にはたくさんの方の幸せをつくりだす力があると考えられています。どんなに陰険なムードの場合も、また体調が悪い時でも、笑顔になるだけで空気が変わり、元気がでてくるものです。周囲の人々の笑顔から元氣がもらえることはもちろんですが、自分自身が笑顔でいることで、様々な良い影響がもたらされます。子ども達をはじめとして、周りの人たちにとつての自分の影響が、よりよいものであるようにということを考えながら行動したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

共に

非常勤講師 飯田 裕美

昨年度は企業の方々に来校頂き、専門の知識の習得やおいしいものを共に作り、食教育を深めて頂く機会に多数恵まれました。

また、幼稚園実習も昨年度はこども園あおばとと私塾まきばの二園で実習をさせて頂き、楽しい時間を過ごす中で、自身を振り返る、また自分の存在、未来の自分のあり方などを話し合うことができました。

そして、保護者の皆様と共に調理を行う機会にも恵まれ、共に作り、美味しい物を頂き、何よりも子どもたちにとって素晴らしいお手本となつて頂き、当たり前だった日常を感謝する機会を与えて頂きました。

これらは一人では決してできないことであり、教職員の方々の支えの中、本当に多くの方々にご協力頂き、家庭科の授業を盛り上げて頂いた感謝の一年でした。

今年度も昨年度同様「共に作る」をテーマに、みんなで作る授業を行っていききたいと思っております。

また、今年度は小学校6年生の国語も担当させて頂くことになりました。家庭科だけを教えてきた私にとつて大きなチャレンジですが、今からワクワクドキドキしております。

国語も子どもたちと共に作り、共に学び、共に成長していけたらと思っております。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2018年度の抱負

顧問 今井 博光

一九九二年にバブルが崩壊し、それ以降、世の中が激変しました。その中でも中国の變化は目を見張るものがあります。一九八九年の天安門事件の民主化運動を契機に、中国は日本の経済に大きな影響を与えるようになりました。中国から安い商品がどんどん入ってくるようになり、日本の企業が倒産に追い込まれる事態になっています。家電、パソコン、携帯電話、液晶モニターのメーカーはサムソン（韓国）、フォンハイ（台湾）等のアジア諸国のメーカーに勝てず撤退をしています。二〇一六年の日本の労働者の「労働生産性」はG7（先進7カ国）中で最下位、OECD加盟国（35カ国）中で20位。

国も企業もこのままではいけないと言うことで「働き方改革」を進めようとしている。教育においても「教育改革」を進めるようです。早速、小学3年から英語を導入し5年生で正課に、同じように小学校から「プログラミング教育」を始める。今までの遅れを取り戻すために、かなりピッチを上げなければならぬでしょう。今現在、AI技術者は50万人不足しているとのことですから。そんな時、私の知識と経験、将来を生き抜くスキルを「ステパノの子」に伝えて行きたいと思っています。

教諭 金阿彌 勉

生徒の健やかな成長を目指して

看護師 菅家 富子

日々の一歩

教諭 上戸 基夫

今年度より皆さんと一緒に学ぶことになりました「金阿彌(かなあみ)勉」と申します。

昨年度までは、横浜市の公立中学校に勤務しておりましたが、とつても良い導きがあり聖ステパノ学園に赴任して参りました。

登山が趣味な私は、森とともに過ごすことができる学園の素晴らしい環境に惚れ込んでいます。桜の季節が過ぎ、新緑の季節がやってきました。光に満ち溢れ木々の葉がわき立ち、美しい色が響き合う、気持ち高まる季節です。

クロード・モネという画家は、時とともに移ろいゆく光が演じる美しさに魅せられ、自宅の庭に睡蓮が浮かぶ池や森を造り、その美しさを日々描きました。その中に『緑のハーモニー』という新緑が響き合う色彩を描いた絵があり、私の好きな作品の一つです。

私にとつては、ここでの新しい出会いが、たくさんの個性と感性が響き合い高め合い、すてきな色を奏でていくことと重なります。一人ひとりの色を輝かせ、美しいハーモニーとなるよう、学園の一員として、みなさんとともにしっかりと歩んでいきたいと心に誓っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

私は6年前、公務員の定年退職時にエリザベス・サンダース・ホームからのお誘いを受け4年間働きました。その後、昨年は公務員の再雇用非常勤職として働き、3月終了しました。今年度から再びこの湘南の恵まれた環境で働くことになりうれしい限りです。

私は中学生時代に体が弱くて常に保健室のお世話になる生徒でした。保健室の先生は具合の悪い時も優しく接してくださいました。その時、将来保健室の仕事をしたかと思いましたが、体育は苦手でしたが中学と高校の6年間は器械体操クラブに所属し、教師と友人に恵まれて活動をした結果、高校卒業時には丈夫な体を得ていました。

看護師になり、地域福祉の仕事をしてきましたが、中学校での体験を生かした保健室の看護師をしてみたいと考えておりました。

今般、聖ステパノ学園の初めての看護師として採用され大変光栄に思っております。自身の経験から成長期の子どもには体力づくりが大切だと考えております。個々に見合った健康な体づくりのお手伝いをさせていただきます。と思います。養護教諭の田島先生と共に、生徒さんが健やかに学校生活を送れますように日々努めて参ります。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

聖ステパノ学園の新しい年が始まりました。新入生を加え、今まで眠っていた校舎が目を覚まし、隅々まで血が巡っていくようです。今年度は、小学校一年生を十四人迎えました。私も久しぶりに小学校生活のスタートラインから共に歩むことになりました。9年間という聖ステパノ学園の生活をしっかりと歩んでいけるように、一つひとつ、「学び」の積み重ねを大切にしていこうと考えています。そして、学年が終わる時の子ども達をしっかりとイメージしながら、学校生活を一緒に歩んでいきたいと思えます。

加えて、今年日々の「歩み」にもしっかりと目を向けていこうと思えます。「こうなりたい」「あんなことがしたい」「こんなことができるようになるたい」子ども達はたくさん思いがあります。ですが、目の前の一歩を確実に歩まなければ、遙か彼方のゴールにはたどり着きません。日々の一歩をしっかりと前に踏み出せる勇氣と、ゴールに向かって歩み続ける力を大切に、将来ステパノの力となる子ども達と共に大切にしたいと思えます。

「一日一歩、三日で三歩。だから歩んでいくんだね。」三百六十五歩のマーチを胸に、歩む一年としていきたいと思えます。

三年生と三年間

教諭 草山 広子

前年度は、小学校三年生の副担任でした。小学校一年生からの持ち上がりです。明るく元気いっぱいの子どもたちなので、とても賑やかで楽しいクラスです。三月の「六年生を送る会」では、「笑点」をしました。内容は、ブラックボックスと大喜利です。それぞれが、自分の持ち場を頑張ることで、六年生にお祝いの笑いを届けることができました。

やさしい木のぬくもりのある新校舎は、二年前に完成しましたので、一年生の半分は、旧校舎、残りの半分は、今の図書室で学校生活を送りました。部屋ごとにたくさん思い出が詰まっています。図書室が教室だった時は、引越しの関係で、廊下に本がたくさん置いてありました。休み時間は、読書三昧でした。今でも、給食が終わると、「図書室へ行ってきます」と、元気よく出かけて行きます。色々な文学作品を書き写す「百マス書き取り」の取り組みも楽しかったです。

子どもたちが考えたクラス便りの題名はどれも素敵です。一年生の時は、「はっぴー」、二年生では、「夢にむかって」。そして、三年生は、「こころをつなごう」でした。みんなの笑顔が大好きです。

今年度は、小学校一年生の副担任になりました。三年間の経験を活かして頑張ります。

今年度の抱負

教諭 黒澤 優

ステパノ学園に赴任して、早いもので一年経ちました。あつという間に過ぎてゆく毎日でしたが、それはなんとなく過ぎてゆくものではなく、非常に内容の濃く、忘れたい経験として心に刻まれるものばかりでした。新しい人との出会い、新しい体験、新しい価値観との出会い、たくさん「新しい」が私を成長させてくれたように思います。今年こそ、その新しい気持ちを忘れずにいきたいと思えます。常に心のアンテナを張って、求められているものは何なのか、最善なこととは何なのか考えながら、成長していくことが今年度の目標です。

2020年から英語教育が大きく変わります。小学三年生から外国語活動がスタートし、五年生からは英語は成績として評価がつく教科となります。移行期間として、それに伴い中学校の英語の学習内容も少しずつ変えなくてはならないと考えています。世の中の流れの中で、教員も子どもたちも日々成長することが求められているように思います。ステパノ学園の変わらないスピリットを大切にしながらも、変化や成長を求めて、学び続ける者でありたいです。

むしろ心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が良いことで、神に喜ばれ、また完全なものであるかをわきまえるようになりなさい。(聖書)

抱負

教諭 根田 栄子

つい先日「二〇一八年が始まった」と思っていたら、あつという間に三学期が終わり、二〇一八年度が始まりました。今年度も、昨年と同じく中学二年と、小一から中三全学年の音楽科の授業を担当させていただくことになりました。

毎年この四月号で『今年度はこうします！』と抱負を語りますが、一年たってみるとその半分も実現できず、計画を実現させることの難しさを再認識させられてしまうのですが、そこで諦めることなく、今年度もまた抱負を語りたいと思います。

今年度、小学校…十四名、中学校…十九名の新生を迎えます。彼ら一人一人の性格や個性を速く掴み、授業や行事に生かしていきたいと思えます。

本学の児童・生徒達が苦手傾向にある楽典や鑑賞(感想文)の教材プリントを、より分かり易くブラッシュアップしていきたいと考えています。

またクラスでは、難波先生と協力し、主任の高橋先生がクラス経営しやすいよう、『痒い所に手が届く』お手伝いをしていきたいと思っています。

今年度もよろしくお願いいたします。

親しき仲に〇〇あり

教諭 咲間 直人

今年度も含め、三年間同じクラスを担当させていただけると大きな喜びを感じています。学校生活を共にし、年月を重ねれば段々と気心が知れた間柄になっていきますが、その仲で自分が常に心掛けたことは「親しき仲にも礼儀あり」です。大人、子ども関係なく、接する相手は一人の人間です。何よりも相手への敬意を忘れずになりたいと思います。

その上で「親しき仲には笑顔あり」、「親しき仲にこそ厳しさあり」という二つも意識したいと思います。笑顔の無い空間は苦痛です。ですが、笑いもただ面白ければ良いというわけではないです。相手を貶める笑いには敬意がありません。それぞれが自然体で過ごすことよって互いに生まれる笑顔を大切にしたいと思います。同時に親しき仲だからこそ、甘えるだけの相互依存になってはいけな

今年度もよろしく願います。

非常勤講師 笹尾 和子

今年度も音楽と一緒に勉強します。よろしく願います。

ステパノ学園は聖書を読んで聖歌を歌います。音楽の授業でも聖歌を練習します。

聖歌は聖書の場面を歌ったり、お祈りの言葉だったり私たちの気持ちをメロディーにあわせて歌になっています。作品によっては親しみやすい現代風な言葉、威厳のある文語体、子ども讚美歌などが私たちの式文聖歌に入っています。別の歌に同じ歌詞が使われていたり、繰り返し返してうたう言葉が有り、だんだん慣れて歌えるようになります。きつと、お気に入り、の歌が見つかりますよ。私が最近気に入っている歌は「きみがすきだつて」という歌です。

聖書の場面を思い出して歌っていきましよう。上手に大きな声で歌うことよりも

《自分の心が神様に向かっていること》が大切です。美しいメロディーを味わいましょう。そして1年たつと「この歌、歌ったことがあるなあ・・・」となります。

持ち物に気をつけて音楽室に来てください。音楽の授業はどの学年も音楽室で授業します。待っています。

魅力ある教師に

統括教頭 佐藤 紀明



これまで魅力ある学校を意識してきました。ただ、そういう自分は魅力ある教師なのか…。ものの考え方は、いつもポジティブな考え方でネガティブな考え方の二通りがあります。研究によると、日本人は世界一ネガティブな考え方をするDNAを持っているそうです。なので、自分自身が意識しないとポジティブな考え方はできません。今年度は統括教頭、六年生の担任、中学校の武道（空手）の指導もすることを「昨年よりも大変で困った」とネガティブに捉えるか、「昨年より子ども達と関わって嬉しい」とポジティブに捉えるかで、子ども達への接し方も大きく変わってきます。教師自身が楽しんでいなければ、子ども達も楽しくありません。教師自身がポジティブな考え方をしていなければ、子ども達も同じくポジティブな考え方はできないと思います。一昨年、斎藤一人さんの「天国言葉」という色紙を頂き、考え方や捉え方が変わりました。

どれも聞いていて気持ちの良い言葉ばかりです。この言葉からポジティブな考え方を実践できます。魅力ある学校は魅力ある教師からできるものです。

魅力ある教師となれるように頑張りたいです。

## 時間

事務 佐藤 雅美

今年度のテーマは、「時間」です。いちばん、自分の中でリッチではないものは、時間です。

なんだか自分の中で「忙しい」がくせになっているような気がします。

また、時間が、足りているはずなのに、いつも時間に追われているような…。

なんだか、時間に支配されている気がします。それはきっと、自分で選んでそうしてしまっているのかもしれない。

やることのあるのに、好奇心でつい何かを始めてしまったりします。とめどない好奇心をむさぼって、バランスが崩れると、心のゆとりがなくなってしまう。

シンプルに時間も、仕事も、どうしたらよりスマートにシンプルに、より減らせるか。忘れないように…。

今年度は、自分自身の必要な時間を、バランスよく確保して、時間のエキスパートになりたいと思います。



## 担任と、指揮者と

教諭 澤邊 嵩介

四月から、小学校三年生の担任を持たせていただくことになりました。昨年度は副担任として関わらせていただいたクラスなので、しばらくは私も子どもたちも不思議な感じを抱きながら過ごすのだろうな、と思います。

新年度を迎えるにあたって、新しい教室や教科書などの準備をします。それらの作業をしながら、「担任として、皆とどう生活しようかな」と、考えました。

そこで、ふと、私が所属している吹奏楽の団体のことを思い出しました。その中には、様々な演奏者がいます。学校の先生や大学生、銀行員やシステムエンジニア、中にはプロの音楽家もいたりします。このように、別々の暮らしをしている人々が、練習の日になると一堂に会します。そして、指揮者の指示の下、一緒に曲の練習を行います。

この、吹奏楽の指揮者と演奏者というのは、学校の教師と児童に似ているな、と思います。全体をまとめ上げるところ、「入るきっかけ」を出すところ、お互いが歩み寄って合わせるどころ、よく見ないと周りからずれていってしまうところ…。(自分の体験談です)。

どうやら身近なところに新生活のヒントがありそうです。今年度は、クラスの不協和音も、調和も、より一層味わっていかうと思います。

## 春を迎えて

教諭 高桑 恵

今年度、十年ぶりに五年生の担当をさせていただくことになりました。明るく楽しい学校生活を送れるよう、サポートしていきたいと思えます。自分の感情をコントロールし、友達を思いやって行動することができると育てていきたいと考えています。子どもの力を最大限に発揮するために、ポジティブな言葉を最大限に発揮するために、毎日楽しいという気持ちで臨むことを大切にします。まずは、自己研鑽に励み、様々なことに好奇心を持つてチャレンジしていきたいと考えています。

教科の方は、国語と理科を担当することになりましたので、校外学習を多く取り入れ、実際に目で見て五感で感じることに重きを置きたいと考えています。また、地域のイベントにも参加するなど、地域の方々との関わりを増やし、お力もお借りしていきたいと思っております。

そのためには、保護者の皆様のご理解とご協力なくしてはできません。保護者の方々と連携を密にしていくよう心掛けたいと思います。子ども達と共に過ごせることに感謝しつつ、精一杯がんばります。どうぞ、よろしくお願い致します。



ワンちゃんに見習って

顧問 高橋 恵太郎

私は戌年生まれでワンちゃん大好きです。最近ではワンちゃんを連れて散歩をしている人を見ると目が吸い付けられてしまいます。

犬は忠実でご主人の歩調に合わせて歩き、曲がり角に来ると立ち止まってどっちへ曲がるのかご主人の顔を覗いています。

私は忠犬かな？とよく考えていますが、いや私は番犬の類だと思っています。

規則に反する様なことは黙って見過ごせない性格で、友人から良くブリキのハートと言われていました。

私の高校一年の時には頬に傷があるような人と渡りあって学校の名誉を守ってくれたと応援団全員が私の教室に勢ぞろいして頭を下げに来てくれたり、サラリーマン時代には列に割り込むとするとする人がいると引きずり降ろしたり、こんな事は何度もあって家族からはどんな仕打ちを受けるか知れないから止めなさいと言われていました。今の時代で無いことが幸いでした。

今年可愛い孫の様な生徒達と仲の良いワンちゃんになろうと思っています。



まず動く

中学校教頭 高橋 謙二

今年度は、中学校の所属になりました。一年間どうぞ、宜しくお願い致します。

先月、小6を卒業させたばかりで、一緒に中学校へ上がるとは思いもしませんでした。今はとても嬉しい気持ちでいっぱいです。私自身2年ぶりの中学校なので、離れていた間に、中学校の雰囲気がどのように、新しく様変わりしているかがとても楽しみです。今年度は教頭という立場と中学2年生の担任ということもあり、中学2年生は勿論ですが、他学年にもしっかりと心を向けて、子どもたちと近い距離感を持ち、真剣に誠実に対応していきたいと考えております。今年一年間、色々なことがあると思いますが、自分に起こること(自分の前で起きていること)はすべてが、自分自身のスペース内で起きていること、映し鏡だと思おうので、良いことも、良くないと感じたことも何事も起こったことは、自分自身の課題であるとして、しっかりと素直に受け止め、謙虚な姿勢で、子どもたちと一緒に学ぶことができれば思っています。そして、何事も、『まず動く』ことを念頭に置いて一生懸命頑張ってください。保護者の方や関係者の方々には今まで通り、ご支援ご協力をお願い致します。子どもたちのためにステパノ学園と一緒に盛り上げて頂ければ幸いです。

一兵卒

養護教諭 田島 恵

今年例年より十日ほど早く、桜が満開を迎えました。まだ肌寒い風は吹いているものの、桜の花びらが舞い散る光景は、なんだか暖かなものを感じます。こうした春の訪れ、季節全体を意識するようになったのは、教師として勤め始めてからのように思います。学内行事によって季節を楽しんでいるからでしょうか。

教師とは不思議な仕事で、新任でも子どもたちを教え導くという職務を背負っています。迷いがあれば子どもを不安にし、自分勝手にすれば子どもはついて来ず、子どもの反応を意識しすぎれば子どもは話を聞かなくなりま。そんな状態になっていないか、それを確認する機会は年度の終わりと始めにあると思います。一年を振り返る時、一年を思い描くとき、自分を見つめなおすことができるのではないのでしょうか。自分を見つめなおすだけでは変えられないこともあるかと思いますが、人として、自分自身の在り方を考えたくになります。

「一兵卒」

一人の下級兵士。比喩的に命令を受けて下働きをする者。「一」として働く」

広辞苑(岩波書店)



## 新年度の抱負

中学校教務主任 田中 圭史

新しい学年が始まり、子ども達だけでなく私たちも希望に胸を膨らませています。

かつて生徒から「僕たちは毎年新しいことを学ぶけど、先生は毎年同じことをやっているんだよね」と言われたことがあります。いやいや、そうじゃないよ、毎年新しい発見があるよ、と答えたものの、そのような印象を与えてしまっているのかと反省しました。学習内容は同じでも学習者が変わると違う展開が生まれます。そして知識からリテラシーへと昇華していくための学習と教授が必要であると考えています。学習内容だけが目的ではなく、学習によって生徒たち一人一人が、また学級集団が変容していくことも大切な成果です。基礎基本の上に、授業者と学習者との双方向性が成り立っていきます。今年もそうなることを目指し、小さい事にも目を配って努力してまいります。

そのためにも今年自分自身学ぶ年にしたいと考えています。自分の裾野を大きく広げ、子ども達を迎えたいと思います。新しいものを取り込んで次の結果に向けて反映していくように、自分を通していろいろなものが巡っていきけるようになると良いなと思っています。日ごとに新たにされる思いをもって一年間過ごしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 今年の抱負

校務・守衛 飛田 裕二

早いもので三回目の春を私が聖ステパノ学園に来てから迎えました。右も左も分らないあの時を思い出し、今一度、初心に戻り新たな気持ちで踏み出していこうと思います。

あれは三学期終業礼拝式が終わり、下校の時間になり小三のステパノエンジェル同様より、お手紙とお気持ちの品を頂き、ビックリしましたが嬉しかったです。本当にありがとうございました。ありがとうございました。

子どもの安全を一番に考え、目を光らせ注視してきますが、見たことがない人などが入って来ると少し心配になります。今は引き止めたり、声掛けをしていますが何かあると、そうはいきません。大磯は比較的 안전한土地ですが、いっどこで事件が起こるかは分かりません。春になると不審者が多発してきます。門の前で立哨警戒して思うことがあります。なるべく道路を横断しないようお願いします。この間、警察官の方と話をしたときに言われました。大人になると注意してくれる人がいなくなるので困ります。大人がしている子どもは真似をします。実際に私が注意したら「大人はみんな横断歩道を渡らないじゃん」と言われました。それでも私は「ちやんとしよう」と言いました。交通事故ゼロ事件ゼロを目指して今年もみんなで頑張りましょう。あいさつはきちんとしましょう。

## 「できない理由」

小学校教頭 中村 弘之

「できない理由」はいくつでも考えつく、といわれる。だから「やってみよう」と一歩踏み出す人は少ない。

イエスの弟子は潔かった。

「すべてを捨ててついてきなさい。」

「はい。」

こんなに美しい会話はあるだろうか。

年度が改まると、新しいポジションや仕事を与えられる。私も、「はい。」という返事は喉につまり、「自分にできるだろうか・・・」が先に来る。仕方がないので、「まあ、いいや。」と思うことにしている。先の心配をしても、答えは出ないのだから。自分にやれることをやるだけだ。

また、自分に何ができるかを自分で決めるのは不遜だと思うようになってきた。周りの人の方が自分をよく見ている。大体、自分の顔を見ることができないのは自分だけだ。与えて頂いた仕事をただひたすらやってみる。やるからには、「スペシャリストになって日本一の内容にしよう。」と思うと、つまらなそうに思っていた仕事が結構面白くなることを発見した。

断る理由を山のように並べるより、前向きにチャレンジする心で一年やってみよう。

## 春、挑戦

教諭 難波 寛

毎年この抱負を書かせていただいているのでまずは昨年の反省から書かせていただきます。昨年の私の抱負は①健康に気をつけること②勉強することでした。

健康に関しては、昨年手術をし順調に回復しました。術前後に周囲の方にご助力いただきました。改めて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

勉強に関しては、和算に関して興味深いことが分り大変実りのある一年でした。今後勉強を続けていきたいと思っています。

ここからは今年の抱負について書きたいと思います。

春は私の一番好きな季節です。なぜなら、冬の寒さを越えて温かくなり色とりどりの花が一斉に咲いているのを見ると自然に心穏やかになり、色々な事へ挑戦してみようという気持ちで一杯になるからです。ふと、片付けの途中などどうしたらもっと良い授業になるかなどを思いをめぐらせています。

今年はどうな小さな事でも挑戦する気持ちで臨みたいと思っています。もし失敗に終わっても、それが役にたったということが数多くありました。「失敗は成功の母。」とよく言われますがその通りだと思います。この言葉を胸に色々なことに挑戦し続けていきたいと思っています。

## この春に思うこと

教諭 西海 多恵子

本当の春がやっと来ました。一面の菜の花、白とピンクの花桃、木蓮は紫と白、鮮やかな黄色の山吹。自宅のある山の上から車で降りてくる道すがら、心が慰められます。

中学校を囲む木々も一斉に若葉を萌出させて、これからが一年で最も美しい季節です。うれしい事に、今年も担任をさせて頂きました。特に中学一年生は、一人ひとりの成長と、クラスが少しずつ出来上がっていく、そのダイナミズムを如実に感じられる学年です。そんな毎日に立ち会えるのは、経験したことのない人には想像もできないであろう「喜び」です。

今年の自分のキーワードの一つめは、「昇る朝陽」です。何年かぶりに初日の出を見に行きました。その力強さ。心が震えました。次の日もまた見ました。三日目は曇りで諦め、次の日、また見に行きました。

もう一つのキーワードは「迷いなく」。すつきりしています。もう少し正直に言う、「迷わずに進め」。逡巡の多い私ですが、その時間が惜しくなってきました。

国語科の勉強も、新しい試みを胸に温めています。「知り、身につけ、創る」学び。楽しみです。

力強く、迷いなく、自分の為すべきことに邁進致します。

## 今年度の抱負

中学校教務副主任 二椏木 健太

今回は私の好きな野球選手を一人紹介しようと思います。それは元プロ野球選手で読売巨人軍に所属していた、鈴木尚広選手です。鈴木選手は現役時代、スタメンで試合に出場することもありましたが、走塁のスペシャリストとして代走での出場が印象的です。ちなみに鈴木選手は通算盗塁成功率の日本記録を持っています。

そんな鈴木選手が活躍する場面は長いシーズンの中で数試合かもしれません。また、出場した試合も出番はほんの一角しかありません。しかし、鈴木選手はいつでもベストを尽くすために入念な準備をしていました。試合では限られた出番の中で自分のベストパフォーマンスをしてきました。そして、試合の行方を左右する重要な選手の一人としてチームの中でかけがえのない存在となっていました。

私自身も鈴木選手を見習って、この一年、どんなに小さいことにも入念な準備をすることを心がけ、自分のベストを尽くすことができるようにしようと思います。そして、ステパノというチームに一つでも多くのことで貢献できればいいと思います。

## 新年度に向けて

非常勤講師 能條 貴大

長く一つのことを続けていると、つい気が抜けてしまうことがあります。人によって長く続けている物事はそれぞれだと思いますが、私にとっては音楽がそれになります。

気持ちを引き締め、また新たにするために、今年度は、「万里一空」という四字熟語を胸に、努力をして参りたいと思っています。

あまり聞きなれない言葉ですが、目的、目標、すべき事を見失わずに励み、頑張り続けるようにとの意味を持っています。

そもそも、「万里一空」という言葉は、宮本武蔵の「五輪書」に記された一節「山水三千世界を万里一空に入れ、満天地とも攪る」を由来としています。「世界の全ては同じ空の下にあり、どこまでいっても同じ世界でしかない。故に冷静に物事を捉え、一つの目標を見据え、たゆまず努力を続けよう。」と内容も非常にストイックで、スポーツ選手が座右の銘にしているとも聞きます。

私も、多くの人に音楽を楽しんでもらう事を今年の目標とし、気持ちを新たに頑張つて参りたいと思います。今年度もよろしくお願ひ致します。

## 新年度の抱負

教諭 長谷川 誠子

今年は桜の開花後、天候が安定していて、満開のきれいな桜を堪能することができました。

残念なことに、入学式前には散ってしまいました。残念なこと、桜色の景色は、毎年、新年度の始まりを意識させてくれるものになっています。

一年生は二年生に、二年生は三年生にと、どの学年の子も希望をもって進級し、生きいきとスタートを切りました。とても嬉しいことです。

今年度は、中村先生と一緒に四年生を担当させていただくことになりました。久しぶりの四年生ということと、長い教員生活で初めての副担任ということ、今までとは違う一年になりそうで楽しみにしています。

これまで担任していた時とは、また少し違う立ち位置で子どもたちと関わることに、新しいことに気づかされ、多くのことを学ぶ一年にしていければと考えています。

「今日の図工、楽しかった!」「みんな、鬼ごっこして楽しかったよ!」「給食がおいしかった!」「学校 楽しい!」という子どもたちの声を聞くと、私もとても嬉しくなります。子どもたちの「楽しい!」をたくさん引き出せる学校に今年度もみんなで行っていききたいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

## 言葉を磨く

非常勤講師 伴 茉莉子

頼もしい暖かさが訪れ、春の彩りに励まされながら新年度を迎えることができました。今年も学園の教育に携われますことを心から感謝いたします。

私の課題は「研磨」としました。頭の中からガリガリと削り出してきた考えや言葉がより効果的に伝えられるように、日々の暮らしの中で、授業の中で、人との関わりの中で少しずつ磨いていきたいです。一週間の中でほんの一時ではありますが、子ども達が「書」を深めるための助けになればと思います。そして字を書くことを通して子ども達が自身と向き合える時間に行きたいと思ひます。

また、授業を受け持つ小学三年生から中学三年生まで七学年は、それぞれに個性があります。負けず嫌いのクラス、自分の書に没頭するクラス、納得できるまで話が止まらないクラス、と様々です。その中から生まれる鋭いひらめきや豊かな表現にはいつも驚きと学びを得ています。学年を上げるにつれて磨きのかかるクラスカラーを指導の手がかりとしながら、子ども達が個々に抱く「上手になりたい」「こんな字を書きたい」という思いが少しでも達成できるよう努めてまいります。今年度もよろしくお願ひいたします。

学校図書館司書 平野 朋子

事務 松崎 由香

教諭 宮崎 幹子

今年度も、小中学校の図書室で司書をさせていただきまます。小学校の図書室が体育館の隣に引越してから今年で三年目になります。教室から遠くなくなってしまったため、図書室の利用が減ってしまうのでは、と心配していましたが図書委員の活躍もあって年間貸出冊数は増加しました。月一回のSAのお母様方のお話会でも、毎回多くの子ども達が楽しいひとときを共に過ごしています。

絵本を様々な言語に翻訳し、アジアの子ども達に贈り届けているシャンティの活動を紹介している『わたしは10歳、本を知らずに育ったの』という本があります。その中に、「子どもの将来の夢を育て、それを実現する力を育てるには、子どもが読書の習慣を身につけることが必要で、そのためには図書館で本と出会う機会がとても重要だと気づきました。」本は知識を与え、人を成長させ人生を変える力をもっています。」という言葉があります。今、ステパノの子ども達が読書の習慣を身につけることは、日々の生活をより豊かにすると同時に世界や未来に目を向けるきっかけになるということを意識して、本を届けたいと思います。今年度も、よろしくお願致します。

ご入学、ご進級おめでとうございます。また、出合いの季節がやって来ました。今年も、新入生の皆さんに会うことを心待ちにしています。

私は、事務の仕事をしています。先生方とは違って、直接関わることは少ないとは思いますが、新学期の準備等で陰ながら皆さんのことを支えています。

まずは、沢山の子とも達と「あいさつ」から始めて交流していきたいと思っています。一年後には、沢山コミュニケーションがとれているとうれしいです。

今年も、色々な行事で皆さんの姿を見るのを楽しみにしています。

私がステパノに来た時、初めて出会った一年生はもう六年生。最上級生です。月日が経つのはあつという間に感じます。

私自身も、また新たな気持ちで取り組んで行きたいと思っています。今までの経験を活かしながら、効率よく正確に進めて行きたいと思っています。

今年もよろしくお願致します。



「やさしいことはつよいのよ」というのは、ねむの木学園園長宮城まり子先生の言葉です。宮城先生は、聖ステパノ学園の創設者澤田美喜先生を大変尊敬されていて、澤田先生の生前にはカトリック新聞で往復書簡の連載もされてきました。

私の今年のスローガンは、「やさしいことはつよい」にしていこうと思います。言うまでもありませんが、つよさとは他者を踏みつけることではありません。他者を大事にして共に幸せな生き方をする道を模索することだと思います。そして、大変な思いをしている人の力になり一緒に困難を乗り越えることだと思います。だれかを置いてきぼりにすることなく、みんなが幸せになることだと思います。そこに必要なこととは、まさにやさしさだと思います。

子どもたちに対しても大きなやさしさをもって関わっていききたいと思っています。ほめることや子どもの良さをたくさんみつけて、子どもたちと楽しい一年を過ごしていきたいと思っています。低学年の子どもたちと関わることは久しぶりなので、今からとても楽しみです。

一年間、神様からお預かりした子どもたちの教育活動に全力で努力してまいります。どうかよろしくお願致します。

## 「塞翁が馬」

事務長 村井 信治

前漢の武帝の頃、異民族（胡人）との国境の砦の近くに老人（塞翁）がいました。飼っていた一番の馬が胡人の土地に逃げ、近所の人々は慰め同情しました。しかし翁は落ち込みもせずいつも通り塞を守り続けました。数ヶ月してその馬が、胡人の駿馬を沢山連れて戻ってきました。人々は祝福したが翁はいつもと変わらぬ様子です。暫くして翁の息子がその駿馬に乗って落馬し大怪我をしました。人々は同情しましたが、一年して胡人が国境を越えて攻め入ってきました。多くの若者は徴兵されて、多くの若者が命を落としました。塞翁の子は戦争に駆り出されず命を永らえました。人間「万事塞翁が馬」奇妙なもので、不幸だと思っていた出来事が幸せに変わる事もあれば、その逆も然りです。何が起るかも分かりません。いちいち一喜一憂や右往左往しないで、ひたすらコツコツと努力しておれば道は開かれることでしょう。その後のパフォーマンスには大きな差が出てきます。プラスの場合が圧倒的に多い気がします。経験上ポジティブ・シンキングと誠実さで信念を貫く事は事業でも人生でも共通する成功方程式だと思います。どっしりとした人生を過ごす事ができます。本年度もいつも通り誠実さと信念を貫いて確実に前に向かっていく事といたしましょう。

## オン・ザ・フライ・ミーティング

スクールカウンセラー 山口 滋美

ふと見ると、小さな黄色いチョウチョが花から花へ、ひらひらと。春ですね。チョウのような華麗さも美しさも持ち合わせていませんが、今年は「オン・ザ・フライ」の気持ちをお大切にしたいと思います。

もともとオン・ザ・フライ・ミーティングには「雑談」という意味があります。「即興的に展開される立ち話」「廊下での対話」が気づきを促し、困り感の早期発見につながると言われています。相談室での相談は、あらかじめ日時を決めて行うので予約という手続きが必要だったり、相談室を訪れるという行為が必要だったりします。相談には、こういう枠組みや設定が不可欠で、そこに意味があるという考え方もありますが、逆に壁になってしまふこともあります。

雑談のように気軽に、廊下でちょこつと立ち話という形での相談ができたらいいなと思います。そのために、教室から教室へひらひらと、廊下から廊下へひらひらと、校舎から校舎へひらひらと身軽に動きたいと思えます。日々忙しく動いている子どもたちや先生方のお役に立てたら嬉しいので、ぜひ捕まえて声をかけてください。網もミツも必要ありません。保護者の皆様からも、気軽に声をかけただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。

## 「臨機応変に」

総務 山田 満紀

いまさらに言うまでもありませんが、臨機応変にとは、「その場の状況に合わせて、的確な行動や処理ができること」とあります。

過去の災害や事件・事故などにおいても後になって悔やまれる事案が散見されました。「後悔先に立たず」という言葉があります。昨年も国内外において大きな災害や悲惨な事故が発生し、その都度その対応や備えについて悔やまれ、二度と繰り返すことのないようにと反省しきりです。しかしこれらの災害、特に自然災害にあつては、想像を絶するような規模のもので、事前の備えなどには限界があります。だからと言って何もせずには手をおまねいていては、ただ被害を大きくするだけと思われまふ。

国や都道府県、地方自治体などにおいてはそれぞれの立場で必要な対策を立て、災害から国民、都道府県民そして市町村民を守るため、努力を重ねております。災害に向かって「自助・公助」という言葉を聞きます。まさに災害時に公の機関の助けを期待する「公助」にも限界があり、自らの身は自らが守るとのことから「自助」が求められています。そのための備えとともに有事に際し、臨機応変に対応できるよう、自らを律するとともに学園の児童生徒が安全・安心に生活できるよう努力してまいります。

教諭 米原 佑樹

聖ステパノ学園では、毎年新しい取り組みが行われています。昨年度だけでも、国語の「百マス書き取り」や六年生の「上野の旧岩崎邸見学」、行事では三年生による「ステパノまつり案内人」や、クリスマス祝会での「初めての人形による聖劇」など……忘れてはいけないのが、昇降口に設置された「海水魚専用の巨大水槽」です。海を学習の場として親しむステパノならではの設備。この水槽の魚を扱った理科の授業も、各学年で早速行われていました。

聖ステパノ学園では先生たちが新たな挑戦をする時には、積極的に背中を押してくれるような風土があり、そのおかげでたくさん先生たちがそれぞれの強みをいかした挑戦をしています。私のような若輩者もそれに感化され、昨年は様々なことに挑戦をさせて頂きました。

今年も持ち上がって、新二年生を担当させて頂きます。ステパノでの一年を無事に終えた子どもたちですが、初めて「上級生」となる今年も彼らにとって「新たな挑戦」が多い一年になることでしょうか。これからの一年間、子どもたちと一緒にたくさんのことに挑戦し、それを楽しんでいきたいと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

教諭 和田 好江

私は、三月二十五日、大磯運動公園にて行われた小学生の駅伝大会の応援に行きました。保護者の方や先生方も応援に来てくださいました。低・高学年それぞれ4区間走って襷を繋ぐ駅伝レースです。ステパノはそれぞれの精鋭たちが代表として選ばれ、初出場でしたが、自分の持てる力を発揮し走り切りました。選手たちは、中学校の陸上部の先輩たちの部活の雰囲気味わいつつ、顧問の先生方のご指導の下練習に参加していました。

今年度も小学校に所属し、小中の保健体育・体育科を引き続き持たせていただきます。主に担当する小学校の体育科については、子ども自身が主体的に参加する、子ども同士・子どもと教師とが対話していく授業を目指して、研究を深めていきたいです。6年間で、どの子にも「体育大好き」の気持ちを持ってもらえるよう準備し、自分自身も楽しんで授業に向かえるように心掛けたいです。

ステパノの体育は学園組織全体に多く支えられています。全教職員が一人の子どもの見つけ、集団全体がその子を育てます。前述の大磯駅伝をとっても、多くの関係者みなさんの応援によって子どもは育っていきます。

「心身共に健康な生活を送れる子」を目標に真摯に取り組んでいきたいと思えます。

☆私立中学校進学相談会  
4月29日(日)10時～16時  
パシフィコ横浜にて

☆神奈川県私立小学校フォーラム  
5月6日(日)10時～15時  
新横浜プリンスにて

皆様お誘い合わせの上、お越し下さい。



☆転入学募集のお知らせ

二〇一八年(平成三十)年度に  
転入学を希望する児童・生徒を  
若干名募集しています。

- ・ 聖ステパノ学園小学校  
一～三年生、五年生 各若干名
- ・ 聖ステパノ学園中学校  
一・二年生 各若干名

詳細は、学園事務室まで  
お問い合わせ下さい。





吹く風も柔らかな季節となり、S.Aも新たな年度がスタートしました。新役員から皆様にご挨拶申し上げます。

【中学校代表】

一年間皆さんの学園生活が充実できるような努めていきたいです。☆鎌倉市在住☆今年はずどもトリフティング100回目指して練習中の三兄弟の母です。

【中学校代表】

子ども達の成長を見守りながら、自分自身も成長していきたいと思っております。☆茅ヶ崎在住☆福祉施設に勤めています。人生の大先輩方々から日々色々な事を学ばせて頂いております。

【小学校代表】

娘が小学校最後の年に代表を務めさせて頂く事になりました。学校に感謝の気持ちを込めつつ一年頑張りたいと思います。☆藤沢市在住☆音楽とインテリアが好きで娘の部屋改造中です。

【書記】

子どもたちの健やかな成長を見守り、皆様のお力添えをいただきながら、お役に立てれば幸いです。

いです。☆二宮町在住☆タティングレース編みを練習中です。

【書記】

学校への感謝の気持ちを形にできるように、一年間がんばりたいと思います。☆平塚市在住☆今年こそ車の運転免許を取得したいです。

【書記】

ステパノ学園の皆様のお陰で娘も私も幸せな日々を過ごせていることに、感謝しております。皆様と交流を深めながら楽しんで活動したいと思えます。☆藤沢市在住☆フラーメンコを習っております。

【書記】

少しでもお役に立てるよう、書記の1人として精一杯頑張りたいと思っております。☆大磯町在住☆仕事は自営業をしております。

【会計】

早いもので娘が入学して、一年がすぎました。皆様に支えて頂きながらの一年でした。私も皆様に助けて頂きながら楽しく活動出来たらと思います。☆平塚市在住☆趣味は、親子で海が大好きなので、磯遊びや水族館に行くことです。

【会計】

S.Aの仕事を通じて、たくさんのお話をさせて頂いただけそうに期待しています。☆横浜市戸塚区在住☆趣味はピアノ。教会の奉仕をしています。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

STEPHEN'S NEWS

【2017年度表彰】  
(日本漢字能力検定)

9級	小3	S・H
7級	小5	K・K
4級	小5	K・S
3級	中2	U・S

〈実用英語技能検定〉

3級	小4	K・F
〈第22回かながわ夢絵コンテスト〉		
湘南ベルマーレ賞	小5	F・Y
〈ステパノカップ MVP表彰者〉	中3	I・R
サッカー部	中3	F・H
バスケットボール部	中3	F・H

【離着任者の紹介】

山口小百合先生が退職され、金阿彌勉先生が美術・図工科教諭として、菅家富子先生が看護師として着任されました。

垣柵佳未 必後記

春です。桜の花びらが舞っています。入学・進級の皆さん、おめでとございます。新しい出会いに期待が膨らみます。(ひ)



代表者 学園長 小川 正夫  
 発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校  
 ステパノだより編集委員会  
 〒二五五〇〇〇三神奈川県中郡大磯町大磯八六八  
 TEL 0463・61・1298  
 FAX 0463・61・9739  
<http://www.stephen-oiso.ed.jp>  
 二〇一八年四月十六日(月) 発行 第220号